

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年 6月

(平成23年 5月末調査)

平成23年 6月23日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 4月】	諏訪公共職業安定所管内	0.61倍	+0.12ポイント	
手形交換高【 5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,020枚	+1,180枚	
	金 額	12,612百万円	+2,562百万円	
	うち不渡り	枚 数	3枚	△4枚
	発生状況	金 額	613千円	△1,098千円
電力使用量【 5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	52,075 MWh	△6.9%	
	高压電力計	88,026 MWh	△5.7%	
	合 計	140,101 MWh	△6.2%	
車庫証明取扱件数【 5月】(諏訪地方合計)		745件	△9.1%	
新設住宅着工戸数【H23.04】(諏訪管内)		99戸	+3.1%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車関連の下請企業の受注状況は親会社や最終メーカーにより区々で、震災前の80～90%まで戻っている企業がある一方、50%程度までしか戻っていない企業もみられる。また、今月末からの大手メーカーの輪番休業にあわせ、当地方でも土日に出勤をして平日休みを検討している企業がある。工作機械などの産業設備関連は、アジアなどの海外工場向けが比較的堅調なものの受注は総体的に弱含んでおり先行きにも不安感がきかれる。デジタル一眼レフカメラ関係では、被災地からの代替生産のスポット受注は落ち着いてきている。

製造業全体のサプライチェーンは再構築が進んでおり、諏訪地方の製造業でも震災直後の予想より幾分早いペースで受注量や生産水準が戻ってきている企業が多い。また、夏の節電や輪番休業に備えて在庫確保のために発注量を増やしている大手企業があり、地域の下請企業でも受注が増加している企業があるものの、まだ先の見通しは不透明とする企業が多い。

●商業

中部電力管内の諏訪地域でも、浜岡原子力発電所の稼働停止などのニュースから節電や省エネの意識が高まっており地域の商業へも影響が出ている。クールビズの開始を5月に前倒しする企業が多く、関連衣料の動き出しも例年より早まった。ビジネス用では半袖ワイシャツ、実用衣料ではステテコ等の売れ行きが好調である。節電対策として「緑のカーテン」が注目されており、ホームセンターでは「きゅうり」や「ゴーヤ」などのつる性植物の苗は品薄となり、関連する園芸用品の売れ行きも好調だった。家電製品では扇風機や省エネ型エアコンに加え、一般家庭用のLED照明の動きが好調である。自動車販売では諏訪地方の5月の車庫証明件数(軽自動車除く)は745台で前年同月比△75台(△9.1%)の減少となった。

●観光業

地域への入り込み客はゴールデンウィーク頃から回復傾向となり、諏訪大社の5月の参拝者数は約62千人と御柱祭期間中であった昨年比では減少しているものの、一昨年比では約15千人の増加となっている。

上諏訪温泉の宿泊者数も回復傾向であるが、インターネット経由の個人客が中心であり、5月の団体客の予約の多くは震災直後にキャンセルされていたことから、総体の宿泊者数は前年に比べ減少した。

花火大会などの夏のイベント企画は例年通り行われる予定であり、夏の観光シーズンは首都圏からの避暑客等の増加が見込めるといいう見方がある一方で、ETC休日割引の終了による入り込み客の減少を懸念する声もきかれる。

●建設業

市町村の5月の発注工事は、建築工事12件184百万円、土木工事・下水道工事31件119百万円、その他工事15件75百万円の合計58件379百万円で、前年同月比で件数は+2件増加したものの、契約金額は△129百万円の減少となった。県関係の5月の公共工事（地元業者受注分）は3件10百万円で、平成23年4月～5月の累計契約は4月に契約がなかったことから累計契約も5月単月と同様の3件10百万円と前年度比で件数は△4件減少、契約金額も△76百万円の減少となった。6月以降も大口の案件や工事件数の増加は見込めず、厳しい状況が予想されている。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は99戸と前年同月比+3戸（+3.1%）の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」と「分譲」がそれぞれ+5戸増加、「貸家」は△7戸減少している。

なお、「太陽光発電システム」関連の営業を強化している業者が多く、また各市町村のリフォーム助成事業の効果もきかれる。

●雇用

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.12ポイント上回り0.61倍と前年同月を13ヶ月連続で上回っているものの依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は0.61倍、長野県の同倍率は0.67倍となっている。

諏訪地域の4月の新規求人（全数）は1,234人で前年同月比+198人（+19.1%）の増加、新規求職者数は1,634人で前年同月比+108人（+7.1%）の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業・運輸業で増加している。

4月の1件10人以上の人員整理はなかったものの、事業主都合による雇用保険資格喪失者は165人で前年同月より△15人減少、前月より+73人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、省エネ家電向けの受注は堅調である。
コンデンサー	デジタル家電向けは比較的堅調に推移している。
プリンター	震災の影響は薄らいでいるが、下請企業の受注は幾分弱含んでいる。
コンタクター・リレー	工場向けの電源切換器等の受注が増加している。

2. 輸送用機械

自動車	受注状況は親会社や最終メーカーにより区々で、震災前の80~90%まで戻っている企業がある一方、50%程度までしか戻っていない企業もみられる。また、今月末からの大手メーカーの輪番休業にあわせ、土日に出勤をして平日休みを検討している企業がある。
ピストンリング・シリンダーライナー	海外向けは堅調であるものの、国内向けは引き続き弱含んでいる。
船外機	アジア向けの輸出が好調であり、下請企業の生産水準も高まっている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジアなどの海外工場向けが比較的堅調なものの、受注は総体的に弱含んでおり先行きにも不安感がきかれる。
搬送用機械	食品関連向けは安定しており、大型設備も幾分回復傾向である。
金型	足元の自動車関連向けの受注は弱含んでいるが、早期回復への期待感もきかれる。
ダイカスト	企業により区々であるが、自動車関連で受注の持ち直しがみられる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの4月の生産台数は795万台で前月比△29.2%減少、前年同月比△30.1%減少となっている。4月の出荷台数は国内出荷73万台、海外出荷739万台の合計813万台で出荷台数全体では前月比△28.6%減少、前年同月比△25.5%減少となっている。デジタル一眼レフ関連の下請企業では、被災地からの代替生産のスポット受注は落ち着いてきている。
レンズ	夏の節電に備えて在庫確保のために発注量を増やしている企業があり、高水準の生産状況となっている企業もみられる。

5. 織 維

ニット

秋物のサンプル生産の時期になっている。

6. 食 品

寒天

荷動きは例年並みである。

味噌

震災の影響から需要が高まっており、受注の増加がきかれる。

7. 製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工戸数は91戸で、前年同月に比べ+16戸の増加となった。

8. 建 設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所1件、林道治山工事関係2件の合計3件、契約金額10百万円となった。

また、4月には契約がなかったことから平成23年4月～5月の累計契約も同金額の3件10百万円であり、前年同期累計比で件数は△4件、契約金額は△76百万円の減少となっている。6月以降も契約数の増加は見込めず厳しい状況となっている。

市町村の5月の発注工事は、建築工事12件184百万円、土木工事・下水道工事31件119百万円、その他工事15件75百万円の合計58件379百万円で、前年同月比で件数は+2件増加したものの、契約金額は△129百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は99戸で前年同月比では+3戸(+3.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+5戸増加の64戸、「貸家」は△7戸減少の28戸、「分譲」は+5戸増加の7戸となった。

また、長野県内の4月の新設住宅着工戸数は845戸で、前年同月比+10.3%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が597戸で+21.1%増加、「貸家」が152戸で△28.3%減少、「分譲」が95戸で+58.3%増加となった。

なお、「太陽光発電システム」関連の営業を強化している業者が多く、また各市町村のリフォーム助成事業の効果もきかれる。

9. 商 業

諏訪地方の5月の天候は、前線の影響から月降水量は平年よりかなり多くなった。また、5月27日に平年より12日、昨年より17日も早く梅雨入りした。

中部電力管内の諏訪地域でも、浜岡原子力発電所の稼働停止などのニュースから節電や省エネの意識が高まっており地域の商業へも影響が出ている。

衣料	クールビズの開始を前倒しする企業が多く、関連衣料の動きも例年より早まっている。半袖ワイシャツやステテコの売れ行きが好調である。
食料品	消費者の買上点数の減少傾向がきかれる。また、競合の激化から商品単価の引き下げやチラシ配布の広域化などで収益性が弱含んでいる。
家電製品	節電志向が高まっており、扇風機や省エネ型エアコンに加えLED照明の動きが好調である。
自動車	諏訪地方の5月の車庫証明件数（軽自動車除く）は745台で前年同月比△75台（△9.1%）の減少となった。メーカーからの新車の供給が停滞しており、中古車価格が上昇している。
ホームセンター	「緑のカーテン」が注目されていることから、きゅうりやゴーヤの苗は品薄になり、関連する園芸用品の売れ行きも好調である。

10. 観 光

地域への入り込み客はゴールデンウィーク頃から回復傾向であるが、個人客が中心であり5月の団体客の予約の多くは震災直後にキャンセルされていたことから、地域全体の宿泊客数は前年に比べ減少した模様である。

花火大会などの夏のイベント企画は例年通り行われる予定であり、夏の観光シーズンは首都圏からの避暑客等の増加が見込めるという見方がある一方で、ETC休日割引の終了による入り込み客の減少を懸念する声もきかれる。

上諏訪温泉	ゴールデンウィーク頃から個人客は回復傾向であるものの、5月の団体客の予約の多くは震災直後にキャンセルされており、総体の宿泊客数は前年に比べ減少した。
蓼科・白樺湖・車山	入り込み客数はゴールデンウィーク前から戻ってきているものの、ホテル旅館の前年比の宿泊者数は増減区々となっている。
下諏訪温泉	宴会関係は震災前の水準に戻りつつあるが、宿泊者数は弱含んでいる。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約62千人と御柱祭期間中であった昨年比では大幅に減少しているものの、一昨年比では約15千人の増加となっている。